

社協だより

2018.12.27

87号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～

目的地まで安全に 送迎をサポートします!!



も く じ

- ◆おでかけ援助サービス事業…………… 2～3 P
- ◆第71回岩手県社会福祉大会 …… 4～5 P
- ◆第42回雫石町社会福祉大会
新年交賀会お知らせ…………… 5 P
- ◆平成30年度赤い羽根共同募金運動報告 … 6 P
- ◆平成30年度歳末助け合い
チャリティーショー…………… 6 P
- ◆西山保育園だよりVOL.24 …… 7 P
- ◆まちの福祉…………… 8～9 P
- ◆お知らせ…………… 10 P

～おでかけ援助 サービス～

運行前の車両の安全確認を終え、おでかけ援助サービス利用者の方のご自宅に向かう写真です。詳しい内容については、2、3 Pをご覧ください。

おでかけ 援助サービス

運転サポーターさん

利用者さんの

声

利用者Tさんの

声

運転サポーターSさんの

声

おでかけ援助サービスを利用することになったきっかけは、ケアマネジャーさんから『こういうサービスがあるよ』と紹介していただいたことです。

実は、社協のボランティア活動で、運転サポーターがあると知っていました。本当は、自分も運転手として活動していきたいと思っていたのですが、病気になるってしまい、利用者という立場になってしまいました。

おでかけ援助サービスは月2回までの利用という制限があるものの、家族も運転ができないため、この

私は雪石生まれではないのですが、30年以上も雪石に住んでいるのに、この土地のことを全然知りませんでした。仕事を退職して、時間があつたので、雪石の為に何か出来ることはないかと思い、運転サポーターとして活動を始めました。

運転サポーターを知ったきっかけは、雪石町社協へ直接行って、何か出来るボランティアはないか相談し、その中で色々なボランティアを紹介していただきましたが、運転なら出来るのではないかと思い、協力させていただく事にしました。

普段活動するにあたって、まず『安全第一』を心がけています。車が揺

サービスは私たち家族にとっては必要ですし、雪石町外への通院は往復でも2,000円と安価なので、本当に助かっています。車イスのまま乗車することができると、移乗する負担も少なく、安心して乗ることが出来ます。

おでかけ援助サービス以外にも、車両の貸出等もしていただければ、ありがたいという気持ちもあります。

このサービスは無くなると本当に困るので、今後も続けていただきたいと思います。

れたり、利用者さんが不安にならないように注意しています。

運転サポーターとして活動して大変なことは全くありません。むしろ運転手として活動している事が大好きです！

私は、両親を早く亡くしてしまつたのですが、利用者の方がちょうど両親ぐらいの年齢の方だったりするので、親孝行をしている気持ちになります。また、運転サポーターとして活動して4年となりますが、いざ自分もお世話になる身かもしれない。出来るうちは、人の為に何かしておきたいと思い、出来る限り活動させていきたいと思っています。

お知らせ掲示板

福祉有償運転サポーターに興味はありますか？

公共交通機関の利用が困難で、介助を必要とする体の不自由な高齢者等の通院等を支援していただける運転サポーターに興味があるかたはご連絡ください！！

○活動日

月曜日・金曜日

8時30分から16時まで

※土日祝祭日、年末年始を除く

○活動日数

週2～3回

○活動時間

日中4～5時間

(通院利用者により、時間に変動があります。)

○年齢

68歳以下

○車両は、社会福祉協議会の車両を使用します。

※2種免許をお持ちの方はすぐに活動できますが、お持ちでない方は講習受講後に活動となります。(講習のお知らせは別途ご連絡させていただきます。詳細は69212230担当・村上・菊池までご連絡ください。)



ご存じですか？『おでかけ援助サービス』

雪石町社会福祉協議会（以下、社協）では、要介護認定を受けている方や障害者手帳を持っている方で、単独では公共の交通機関やタクシー等が利用できない方に対し、病院への通院や買い物、公共施設などへの送迎を行う事業を行っています。車両の運転は、『福祉有償運送運転者講習』を修了したボランティアの方々が行っています。事業の詳細な紹介は次のとおりです。

① 対象となる方

- ・介護保険認定要介護1以上の方
- ・身体障がい者
- ・知的障がい者
- ・以上の方達で、単独で公共交通機関の利用が困難な方

※要介護認定や障害者手帳等の給付を受けられている方でも下記の方は対象となりません。

- ・自分で歩ける方(杖・手押し車等を利用)
- ・介助者を必要としない方
- ・外出支援サービス登録者(町役場助成事業)

② 利用できる理由

- ・医療機関への通院及び入退院のとき

③ 利用日時

- ・福祉活動に参加するとき
- ・公共機関への諸手続きのとき
- ・福祉施設への入退所のとき
- ※必ず介助者が必要となります
- ・毎週月曜日から金曜日の希望する日(年末年始、祝祭日を除く)
- 運行時間
- ・午前8時30分から午後4時まで
- ※事前予約が必要です。

④ 利用料金

- ・雪石町内…1,000円
- ・雪石町外…2,000円
- ※自宅から片道・往復とわず1回となります。

⑤ 利用回数

- ・月2回まで
- ※一度のおでかけで2ヶ所寄った際は、2回利用されたこととなります。

⑥ 利用する際に必要な手続き

- ・利用の際には、登録・申請が必要となります。
- ※登録には審査があります。

第71回岩手県社会福祉大会

「共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指して」

平成30年10月31日（水）、第71回岩手県社会福祉大会が岩手県民会館大ホールで開催されました。

当町からは、岩手県知事表彰「社会奉仕功労者」1名、岩手県知事感謝状「在宅介護者」1名、岩手県社会福祉大会長褒賞「在宅介護者」2名の方々が受賞されました。

式典終了後、「家族と漫画と東日本大震災」と題しての記念講演が行われました。

記念講演

『家族と漫画と東日本大震災と』

○講師・団 士郎 氏

【講師紹介】

団士郎氏は、公立の児童相談機関等の心理職を長年勤めた後独立し、「仕事場D・A・N」を主宰。

全国で家族療法のワークショップや講演会を実施している。また、月刊福祉等において、マンガ「木陰の物語」を連載している。

東日本大震災後は、被災地復興支援活動として、東北4県を巡り、「東日本・家族応援プロジェクト」漫画展を毎年開催している。

講演内容から抜粋

私は自分の漫画の中で、日常生活で気になったことを取り上げ、自分の思いを記事にしています。皆さんの普段の生活においても、自分の行動を選択しなければならぬ分岐路に立つことが多いと思います。行動を選択するにおいて何が良く何が悪いかは、人によって判断が分かれるため、正解はありません。皆さんも無意識に、自分の判断基準や考え方を相手に押し付けてはいませんか。

昔は、親切や援助等、お互いに助け合うことが当たり前の時代でした。時代の変化によって、地域での関係性も変わっています。災害時には、お互いに寄り添い助け合うことが求められており、頻発する災害により、風化してしまうことも多くなっています。だからこそ、普段からお互いさまの気持ちをもち、地域での関係を構築していくことが求められていると思います。

普段の生活の中で、自分の家族や生活のこと等相手に知られたくない事もあると思います。悩みを打ち明

けるのも、隠し通すのもそれぞれが考えて出した答えです。どんな結果になっても、最終的に答えを出すのは、自分たちなのです。

私たちは自分のことだけでなく、相手の生き方・考え方から学ぶことができます。知らず知らずの内に、相手が傷ついて苦しむことがないよう、自分が気になることには、まず、さり気なく相手に声をかけてみることも必要です。自分の意見を伝えるだけでなく、相手の考えを理解するよう寄り添うことも、私たち人間だからこそできる支え合う一つの方法だと思います。



講演後、受賞者並びに社会福祉関係者が、共に生き、共に支え合う福祉社会の実現のため、住民主体による福祉活動を推進できるよう共通認識を深め、心を一つにして、更なる研鑽を誓い合い閉会しました。

県社会福祉大会

～受賞おめでとうございます～

岩手県知事表彰

〈社会奉仕功労者 1名〉



土樋 耕子 氏

26年の長きにわたり、夫婦共稼ぎ家庭や一人親家庭の児童を自宅で預かり、託児を行ってきた。少しでも子育てを頑張っている家庭の支えになればと思い、親御さんが残業などで自宅に戻れない時には、代わりに児童を迎えに行き、朝方送り出すなど、家族に寄り添った「24時間の託児サービス」を行ってきた。

また、「雫石町子育て支援ボランティアの会」の立ち上げに尽力するなど、子育て支援の大切さを身をもって示した功績。

岩手県知事感謝状

〈在宅介護者 1名〉



赤坂 シズミ 氏

多年にわたり、献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績。

岩手県社会福祉大会長褒賞

〈在宅介護者 2名〉



野中 君子氏 滝澤 キヨノ氏

多年にわたり、献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績。

第42回 雫石町社会福祉大会

大会テーマ『誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり』

日時 平成31年1月14日（月・祝）

会場 雫石町中央公民館 野菊ホール

大会日程

12:30 / 受付開始
13:00 / 開会・式典
14:00 / 記念講演
15:00 / 大会宣言の採択

◆開会・式典 13:00～

雫石町社会福祉大会長表彰

多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々を表彰します

○民生委員・社会福祉団体・施設役職員永年勤続功労者 ○在宅介護功労者（褒賞）

参加無料!!

どなたでも自由にご参加いただけます。
是非、ご来場下さい!

◆記念講演 14:00～

雫石町の民生委員児童委員が笑って泣いたオススメ講演!!

演題 『なぜ、アニメ“サザエさん”は長く続いているのか?』

～旧き良き時代からみた地域共生社会とは～

講師：社会福祉法人石巻市社会福祉協議会 地域福祉課 課長補佐 阿部 由紀 氏

講師プロフィール：昭和42年、漁師町である宮城県石巻市（旧雄勝町）に待望の長男として生まれる。平成元年、雄勝町社会福祉協議会に入職し、平成17年4月の市町村合併（1市6町）により、石巻市社会福祉協議会職員として現在に至る。東日本大震災後は、災害ボランティアセンターの担当者、社協で新設した復興支援課の生活支援事業の担当者として5年従事、その間、内閣府「防災ボランティア活動の環境整備に関する検討会委員」を務める。一昨年度からは現在の地域福祉課で「福祉によるコミュニティ支援」を主軸とした事業に従事している。（第1層生活支援コーディネーター）

問合先：雫石町社会福祉大会実行委員会事務局（町総合福祉センター内） ☎ 692-2230 担当：澤口・村上

*本大会終了後、町内福祉関係機関及び福祉関係団体と連携を図ることを目的として、新年交賀会を開催します。なお、招待者には、当会から個別に案内をさせていただきますので、予めご了承ください。（新年交賀会担当：渡邊・外村）

今年も岩手県サッカー協会主催のキッズ巡回指導を実施しました。今回はグルージャ盛岡アカデミーから石原コーチ、角田コーチが来園しました。「からだをうごかすことが楽しい！うれしい！おもしろい！」をテーマに、友だちと一緒に汗をかきながらボールに親しんでいます。

最初はバナナ鬼や動物鬼など鬼ごっこでコーチと触れ合い、体を温めた後は、ボールを蹴りながらジャンケンゲームをしたり、3チームに分かれて友だち同士で勝つための作戦を話し合いながら試合をしました。

ボールは
ともだち！



お外で元気にサッカー教室



ジャンケンで2回勝つと、コーチ(ジャンケンキング)とジャンケン勝負ができます！



負けないぞ！

平成30年度赤い羽根共同募金運動 報告

平成30年度赤い羽根共同募金 法人等職域募金実績

法人募金 (単位:円)	
法人名	金額
岩井建設(株) 様	10,000 円
岩手大崎電気(株) 様	10,000 円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000 円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000 円
(株)しずくいし 様	5,000 円
雫石プリンスホテル 様	5,000 円
新岩手農業協同組合雫石支所 様	5,000 円
仙建工業(株) 様	5,000 円
(株)中村建設 様	5,000 円
松ぼっくり 様	5,000 円
ホテル加賀助 様	5,000 円
雫石タクシー(有) 様	3,000 円
匿名希望	2,000 円
計	80,000 円
職域募金	
事業所名	金額
雫石町役場職員一同 様	35,888 円
計	35,888 円
行政区募金	
行政区	金額
74行政区 4,601世帯	2,301,100 円
計	2,301,100 円

総額 **2,416,988円**

(平成30年11月30日現在)

十月一日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動を全国一斉に展開しております。今年度も各行政区長さんを通じて、町民の皆様よりたくさんのご協力をいただきました。また、町内の企業等からも、たくさん募金を頂戴しております。お寄せいただいた赤い羽根共同募金は全額、岩手県共同募金会へ送金され、より住み良い町づくりに役立つように、社会福祉施設や社会福祉団体、ボランティア団体等へ助成されます。たくさんのご協力本当にありがとうございます。また、現在皆様よりご協力をお願いしております。歳末助け合い募金運動の結果につきましては、次号の杜協だより内にてご報告いたします。皆様のあたたかい気持ちに深く感謝申し上げます。



可愛らしい演技に会場に笑顔溢れる



内閣総理大臣賞を受賞した「細川会」特別公演



ラストを飾った「立俵武多」は迫力満点

今年も、「みんなで明るくお正月を!!」を合言葉に歳末助け合い募金運動の一環として開催している『歳末助け合いチャリティショー』が、平成三十年十二月二日(日)中央公民館野菊ホールにおいて盛大に開催されました。この企画は、町婦人会・商工会、商工会女性部・青年部、JA新しいわて雫石支部女性部・青年部、雫石町役場青年部、町共同募金委員会、町ボランティア活動センター運営協議会のメンバーで実行委員会を設置し毎年開催されています。

今年、『平成最後』のチャリティショーということで、実行委員会では、どのような企画にしたら町民の皆さんに喜んで頂けるかを最

大のテーマに議論を重ね、例年チャリティショーを盛り上げて下さっている団体に加え、細川会の発表や岩手県立大学ダブルダッツサークル、実行委員会企画の「若者の主張」コーナーを新たに企画しました。どの出演団体もこの日のために練習された成果を発揮し観客を魅了して下さいました。

ステージ発表以外にも商工会の皆さまや町民の皆さまからのバザーの物品提供、会場募金等の協力を頂きました。

この『歳末助け合いチャリティショー』での収益金828,800円は町共同募金委員会へ贈呈されました。

みんなで明るくお正月を!!
『歳末助け合いチャリティショー』開催されました♪



まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

報 雫石町合同金婚式開催

11月22日(木) ホテル森の風驚宿にて、合同金婚式が開催され、結婚50年以上となる6組のご夫婦が参加されました。アトラクションでは、上長山無形文化財振興会の皆様による「花嫁道中」を行い、嫁方の長持(タンス)を渡す唄、それを受け取る唄、道中唄、婿方に到着を告げる唄が披露されました。唄の内容も、鶴で渡せば亀で受け、亀で渡されれば鶴で受けるなど、その場で機転を利かせて受ける唄を考えて唄っています。



金婚式に参加された皆様

七ツ森保育所の子ども達からは、歌と踊りを2曲ずつ計4演目披露。子どもたちが踊った「よしやれ」は、参加者の皆さんが長年親しんできた踊りで、子どもたちの踊るかわいさを口ずさむ方もいらっしやいました。

最後はお互いのメッセージが、若い時の写真と共に上映されました。



上長山無形文化財振興会のアトラクションの様子

「海外赴任を控えていた自分を選んでくれ、赴任地にもずっと付き添っていただき、感謝しています。」「この50年、振り返れば多くの経験が自分を育ててくれました。これからは健康に気を付け、お互い楽しく過ごしていきたいです。」など、普段は思っていないお互いの口にはできないことを言葉に表していただきました。お互いに寄せられたメッセージで、50年以上の苦楽を共にした結婚生活が蘇ってきたのでしょうか、ほとんどの方の目から涙がこぼれ落ちていました。

参加された方達からは、「とても感動した。」「最初は恥ずかしかったが、参加して本当に良かった。」といった感想をいただきました。



手作り弁当に大忙し!!



美味しいお弁当が完成!!

平成30年11月7日(水) 雫石町民生委員児童委員協議会女性部会主催(主担当西山地区)の「一人暮らし夕食サービス事業」が実施されました。

報 一人暮らし高齢者夕食サービス 今年も心を込めてお届けしました!!

雫石町民生委員児童委員協議会



男性委員も配達に協力!



今年も頑張りました!!

民生委員児童委員は、地域の皆さんの相談役だけではなく、こうした多岐に渡った事業を展開し、地域で気になる方への見守り活動も行っております。これからも、地域の皆さんのご理解と協力を頂き活動を展開してまいります。

報 第35回岩手紫波地区老人芸能大会開催

平成30年11月16日(金) 雫石町中央公民館にて「第35回岩手紫波地区老人芸能大会」が開催されました。今年度は雫石町が主管で開催し、当日は多くの観客の方々とホールは満員状態となりました。



各町とも息の合った踊りや、迫力のある太鼓の演奏など、様々な演目が披露され、会場からは大きな拍手や歓声が上がるなど、皆さんに笑顔と元気を届けた素敵な演芸大会となりました。

報 生活支援コーディネーターが行く!!

地域のお宝情報発信します!!



生活支援コーディネーターは、今年度から雫石町地域包括支援センターにも配属され、現在2名体制で連携しながら活動しています。

地域の高齢者をはじめ住民皆さん一人ひとりが、住み慣れた地域で暮らせる場・通える場づくりのお手伝いをしたり、困り事をどう解決していくか一緒に考え取り組んでいます。また、こうした活動は私たちだけでなく、協議体(町の生活支援体制を共に考えるコーディネーターの応援団)や地域おこし協力隊と協力しながら取り組んでいるものです。

最近では、お互いさま情報交換会の話し合いの中で出た地域の居場所づくりについて、具体的な実施に向けて住民の皆さんと相談させていただいたり、そうした話し合いをき



お互いさま情報交換会にて、地域の良いところや気になること等伺っています



小松行政区のシルバーリハビリ体操 多くの方が参加する通いの場



『物品貸出ブック』完成! これからもお役立ち情報を発信します

かけにして、既に自主的な集まりを始めた行政にもあります。

今回は、情報発信のひとつとして様々な地域活動で活用いただけるよう『物品貸出ブック』を作成いたしました。社協の他、各地区公民館等で貸し出されている物品やレクリエーショングッズについて一覧にしています。これは、住民さんから「公民館で集まってレク等をした時、どこでどんな物品が借りられるかわかる」といふ声があった。皆さんの地域活動がより活発に充実したものになるよう活用いただけたら嬉しいです。物品貸出ブックは、総合福祉センター、各地区公民館、町営体育館等に置いてあります。社協ホームページでもご覧いただけますので、是非ご利用ください。

知 西山学童、引越し完了!!

4月に西山地区の上長山小、下長山小、西根小が統合し、西山小学校となりました。統合した後も、施設の拡張までの間、旧小学校区でそれぞれ放課後児童クラブを運営してきましたが、施設の整備が完了し、12月より、放課後児童クラブも統合となりました。西山小学校敷地内に新しい建物が設置され、西山放課後児童クラブ、愛称「なかよしクラブ」として、保育が開始されています。西山学童クラブの支援員は、齊田



支援員と佐藤支援員の2人を中心に対応します。今後も、児童が楽しく安全に過ごせるように支援してまいりますので、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

知 福祉サービスいろいろ情報 チャイルドシート貸出中です

町社会福祉協議会では、子育て支援の一環として、チャイルドシートの貸出を実施しています。

○対象者

雫石町に住所を有する方で、出生後3歳未満の乳幼児の保護者。

○貸出期間

貸出日より、1年6か月以内

○貸出料(クリーニング代として)

1台・1回3,000円

○申請方法 「母子手帳」並びに「運転免許証」、



「印鑑」を町社会福祉協議会までご持参いただき、借受申請書を作成・受理後、貸出を行っています。 ※チャイルドシートの台数には限りがございます。空き状況や詳細については、町社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。 【問い合わせ先: 692-2230】

クラブ男厨会



おすすめレシピ紹介

「クラブ男厨会」とは、『男子、厨房に入る会』の略称で、自分達で作ったお弁当を一人暮らし高齢者へ提供する昼食会へ協力いただくなど、地域貢献活動に取り組んでいるボランティア団体です。

vol. 2



ササッと簡単に

きのこ豚丼

【材料】(4人分)

- ・ごはん…………… 600g
- ・豚もも薄切り 160g
- ・たまねぎ………… 200g
- ・しめじ…………… 100g
- ・ピーマン………… 40g
- ・水…………… 150cc
- ・酒…………… 大さじ 1
- ・醤油…………… 大さじ 1
- ・みりん…………… 大さじ 1
- ・刻みのり………… 適量

【作り方】

- ①豚肉は一口大に切る。
調味料(醤油、みりん)を混ぜ込む。
- ②玉ねぎは薄切り、しめじは石づきを取り、ほぐす。
ピーマンは種を取り、2～3cmの長さに切りサッと茹でる。
- ③フライパンに肉を入れ、汁気が無くなるまで火を通し、肉を取り出す。
- ④同じフライパンに玉ねぎ、しめじ、水と酒を入れ蓋をして透き通るまで煮込む。汁がなくなったら肉を戻し、混ぜ合わせ火を止める。
- ⑤ご飯の上に④を盛り付け、ピーマン、刻みのりを散らす。



できあがり♪

社協行事予定

1月

5日(土)

雪んこ見守り隊巡回訪問
(5日(土)出陣式、12日(土)、
19日(土)、26日(土)も実施)

14日(月)

第42回雲石町社会福祉大会
新年交賀会

30日(水)

よろず・生活困窮相談

2月

2日(土)

雪んこ見守り隊巡回訪問
(9日(土)、16日(土)、23日
(土)も実施)

15日(金)

在宅介護者の集い

27日(水)

一人暮らし老人昼食会
総合相談所

3月

3日(日)

福祉の職場説明会

27日(水)

よろず・生活困窮相談

*事情により、変更になることもあります。予めご了承ください。

寄付金

やさしいまごころを
ありがとうございます
(平成30年7月から12月までの間に、寄せられた寄付についてお知らせいたします。)

○雲石郷土芸能伝承活動細川会

代表 細川 チエ子 様

100,000円

○吉井 千枝子 様

100,000円

○匿名

(町の福祉のために)

30,000円

○第18回よしゃれの里G交流会
実行委員会

(町の福祉のために)

物品寄付

○車椅子

3台

株式会社小田島

代表取締役社長 小田島 欣一郎 様

